

第1回青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル 実施報告書

実行委員長 成田容子

〒030-0801 青森市新町 2-8-20 柳ビル5F

NPO 推進青森会議事務局気付

1. 実施概要

日程：2006年7月29日（土）

会場：青森駅前アウガ5Fカダール AV多機能ホール

料金：前売り券 2,000円（当日券 2,500円）

チケットは、通し券のみです。

主催：青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル

協力：関西 Queer Film Festival 実行委員会

東京国際レズビアン&ゲイ映画祭 運営委員会

後援：特定非営利活動法人 NPO 推進青森会議

2. プログラム内容

13:00 ～ プログラム 1

ヘテロ菓（日本語字幕あり） 監督：「ヘテロ菓」制作委員会

日本 2005年 43分

chocolate（英語字幕あり） 監督：iri

日本 2000年 27分

14:30 ～ プログラム 2

Straight Out マイ・ファースト・カミングアウト（日本語、英語字幕あり）

監督：キフラップヒルドゥル・グンナルスドッティル / ソルヴァルドゥル・クリスティンソン

アイスランド 2003年 56分

15:45 ～ プログラム 3

向日葵（日本語字幕あり） 監督：河村昌伸・勅使河原雄蔵

日本 2004年 49分

16:50 ～ プログラム 4

Tying the knot 誓いますか？／誓います（日本語字幕あり） 監督：ジム・デ・セヴ

USA 2004年 81分

ご挨拶をいただいた皆様

尾辻かな子さん（大阪府議会議員）

小浜耕治さん（東北 HIV コミュニケーションズ 代表）（仙台）

竹村勝行さん（レインボーマーチ札幌実行委員会）

宮沢英樹さん（第 15 回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭 代表）

真木柁鷹（まさき まさたか）さん（性は人権ネットワーク Est Organization 代表）（秋田）

3. チケット売り上げ数： 189 枚（前売り 164 枚、当日 25 枚）

4. 広報活動

ウェブサイト 公式 HP： http://www.geocities.jp/aomori_lgbt_film2006/index.html

ちらし A4 サイズ：両面カラー 1 万枚

ポスター A2 サイズ：カラー 200 枚

新聞掲載

陸奥新報（4 月 25 日）

河北新報（5 月 12 日）

北海道新聞（5 月 25 日）

東奥日報（5 月 31 日）

朝日新聞（6 月 7 日）

ふえみん 婦人民主新聞（7 月 5 日）

デイリー東北（7 月 20 日）

毎日新聞（7 月 20 日）

東奥日報ウイークリーかわら版（7 月 21 日）

岩手日報（7 月 24 日）

東奥日報（7 月 30 日）

ラジオ

アップルウェブ：「津軽いじん館」（5 月 26 日 16:00～16:30、再 19:30～20:00）

ジャイゴウェブ：「ウイークリー・レディオ・102」（6 月 10 日 12:00 ～ 14:00）

TV

RAB「@生てれ」（7 月 3 日 17:47～）

NHK

雑誌、その他

Badi（6 月号）

クリッパー青森、弘前、八戸版（6 月中旬）など

5. アンケート結果

別ファイルをご参照ください。

6. 会計報告

別ファイルをご参照ください。

7. 総括

第1回青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバルは、「多様な性」をテーマに開催された。これだけの規模でのLGBTイベントは県内では初めてのことと思われるが、多くの方々のご来場を得て、大成功に終わった。観客の方々は、青森県内ばかりではなく、東北6県、北海道、関東からもいらしてくれた。年代、セクシャリティともに幅広い観客を得たと感じている。

また、全国から5名のLGBT支援者が応援に駆けつけてくれ、各プログラムの始まる前に、活動内容や団体紹介をして下さった。観客の方々にとっては、全国で展開されているLGBT支援活動の一端を知る良い機会だったと思われる。「もっとお話を聞きたかった」という声もあった。

今回、第1回ということで、新聞、雑誌が、早い時期から非常に好意的に取り上げてくれた。市内のお店にチラシを置いていただきに伺っても、快く対応してくれた。また、全国の方々から応援のメッセージをいただいた。多くの方々のご協力の下に開催された映画祭であると実感している。

アンケートによると、作品、会場、スタッフの対応など、あらゆる面において良い結果が見られた。「今まで考えたこともなかったけど、LGBTの人たちが抱える悩み、心配などが良く分かった」というコメントもあった。スタッフの間からも、同じようなコメントが出ていた。多くの人たちに考える機会を与えた映画祭だったと感じている。ただ、「映画終了後に交流会があれば良かった」という意見があった。来年以降、是非実現させたいと思う。

これからは、より多くの方々に来ていただくことを心がけ、内容の改善、充実に努めていきたいと思う。